



「第5福竜丸」 名井萬龜

## 題材の目標

題名を手がかりに、作品へ込めた作者の心情を想像しながら鑑賞する。

名井萬龜の作品を通して、表現の多様性を味わい、自分の思いを単純化した図柄で表現する。

**準備物** 【教師】鑑賞作品の複写，核実験・核問題等の資料，感想を書く紙，画用紙など  
【児童】筆記用具，色鉛筆など

## 学習の展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準
<p>「フットボール」を描いた名井萬龜について大まかな略歴を知る。</p> <p>「初空襲」，「ビキニ爆発」，「ビキニの灰」，「第5福竜丸」を鑑賞する。</p> <p>* 題名を考える。</p> <p>* 描かれているものを見つける。</p> <p>* 作者の気持ちを想像する。</p> <p>* ビキニ環礁の水爆実験，第5福竜丸の被爆について知る。</p> <p>* 名井萬龜の表現について特徴を見つける。</p> <p>鑑賞後の感想を単純化した図柄で表現する。</p> <p>まとめ</p>	<p>題名を想像させ，名井萬龜の作品に関心をもたせる。</p> <p>最初は題名をふせておき，描かれているものや色などからイメージを広げさせ，題名や作者の心情を想像しながら鑑賞させる。</p> <p>ビキニ環礁の水爆実験，第5福竜丸の被爆について平和学習等で事前に調べておくか，簡単に説明を加える。</p> <p>単純化した形や色，象徴的なモチーフなど表現のよさや特徴を味わわせる。</p> <p>名井萬龜の表現を参考にして自分の気持ちを素直に表現させる。</p> <p>感想（作品）を交流し，お互いの表現のよさや見方・考え方を深める。</p> <p>画用紙は小さいサイズにする。</p>	<p>画家の思いや意図，友だちの見方や考え方について分かり合おうとする。</p> <p>自分が感じたことを簡単な図柄で表そうとする。</p>

## 題材の意図と指導のポイント

### < 児童の発達段階との関連 >

この時期の児童は、美術作品やその作者の意図や心情にも関心を示し、友だちと話し合うなどして感じ方や見方を深めることができます。平和や戦争といった人権にかかわる問題にも興味が高まり、画家の思いを素直に受け入れることができます。また、抽象的な表現にも関心があり、親しみやすい作品です。

### < 鑑賞の視点 >

「フットボール」などの穏やかな作風や「ビキニ爆発」などの抽象的な表現にみられる名井の個性豊かな表現力、また、人類の存続を

危うくする原爆(核問題)に対する画家としての姿勢などに注目しましょう。

### < 指導の工夫及び配慮 >

この題材は、校内で計画されている平和学習等と関連させることで、より学習効果が高まるでしょう。平和学習の導入に活用したり、まとめて扱ったりして、児童の実態に合わせた計画を立てましょう。

の活動で、表現活動を重視する場合は、時間をとって充実させましょう。また、みんなの気持ちが他の人に伝えられるように掲示を工夫しましょう。



「ビキニ爆発」(1954年)



「ビキニの灰」(1954年)



「フットボール」(1946年)



「初空襲」(1924年)

ない まき  
名井 萬龜

名井萬龜〔1896(明治29)年~1976(昭和51)年〕は、1896(明治29)年広島市大須賀町に生まれました。名井は幼い頃から絵を描くのが好きで、美術学校へ進学することを望んで上京し、本郷洋画研究所で岡田三郎助にデッサンなど習いましたが、受験に失敗して広島に帰りました。その後兵役につき、家業を手伝いながら絵を描くという生活を送りました。1926(大正15)年、30歳になった名井は、家族を説得し単身パリに渡り8年間絵の研究に明け暮れました。帰国して、日本美術協会列品館で滞欧作品展を開きました。この300点にものぼる独創的な作品は日本美術界に新風を吹き込みました。しかし、名井の絵は、広島の家に残開させていたため原爆によってすべて焼失してしまいました。1945(昭和20)年二科会会員となりますが翌年退会し、戦後はより抽象の度合いが強い作品を描きました。1954(昭和29)年のビキニ水爆実験を契機に「水爆の問題は人類の運命に関わる問題」として「第五福竜丸」「ビキニの灰」「ビキニ爆発」などの作品を描きました。